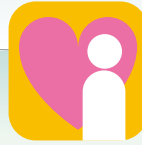


簡単!

エコドライブ・テクニック

エコドライブは、だれでも簡単に取り組める環境に優しい運転方法です。

エコドライブの 3大効果



ひとに優しい

エコドライブは、安全運転につながるため、交通事故が51.2%も減ります!



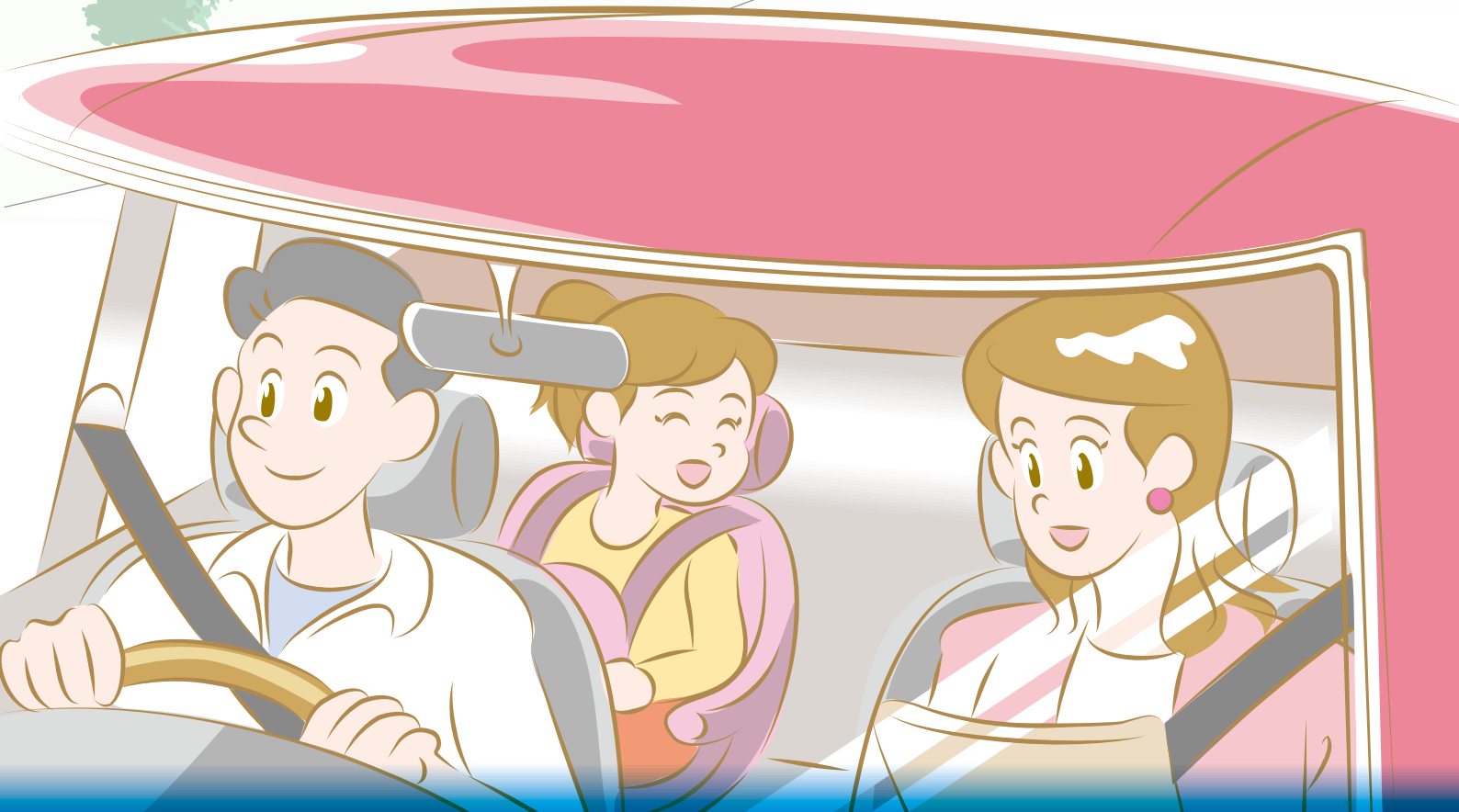
お財布に優しい

ガソリン費用が節約できます。約10%の燃費改善につながります!



環境に優しい

燃費改善率にほぼ比例して、二酸化炭素(CO₂)排出量が減ります! 有害な大気汚染物質も減ります!



地球温暖化対策や環境負荷低減のために、私たちにできること

外出するときは、なるべく**公共の交通機関**を利用し、運転するときは、極力、**エコドライブ**を心がけましょう。

電気自動車などの**次世代自動車**は、環境に優しいエコカーです。マイカーの買い替えのときは、環境にも配慮しましょう。

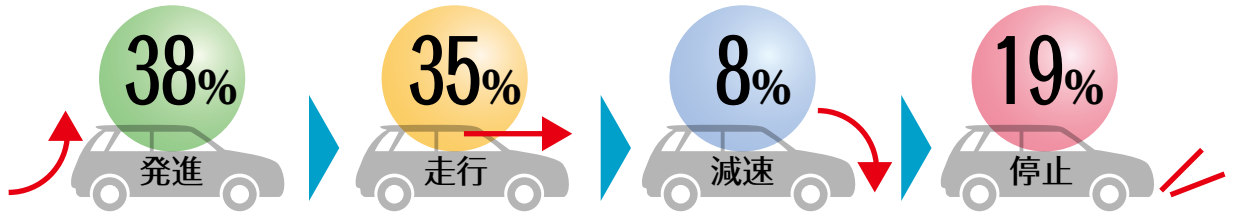
数えます!

誰でもできるエコドライブの4つのコツ

走行パターンと燃料の消費

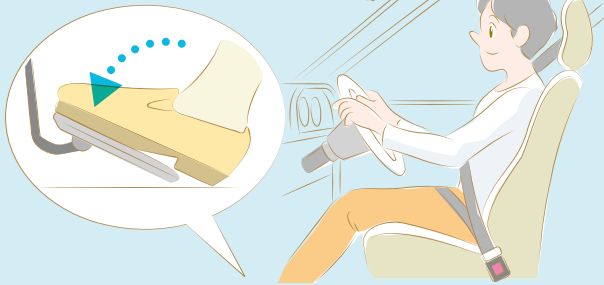
車は、発進・走行・減速・停止を繰り返しながら走っています。走行パターンに応じたエコドライブを心がけましょう。

燃料消費率



発進

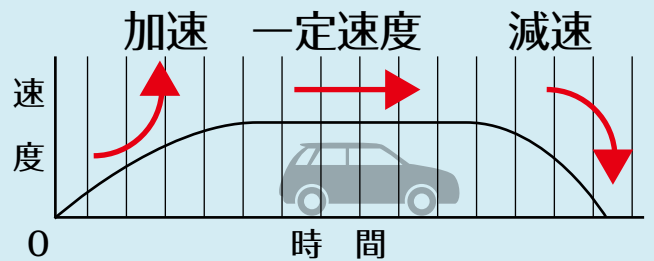
1 ふんわりアクセル「eスタート」



発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。(最初の5秒で、時速20km程度が目安です。)
日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。

走行

2 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転



走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

減速

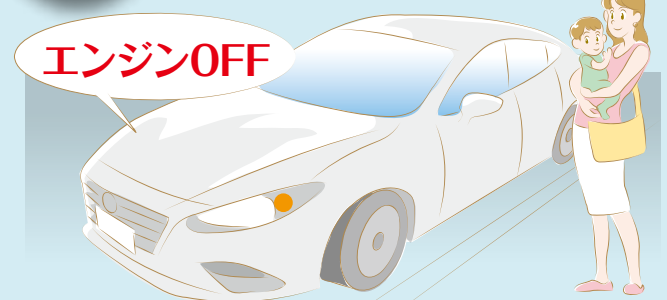
3 減速時は早めにアクセルを離そう



信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

停止

4 ムダなアイドリングはやめよう



待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう*1。10分間のアイドリング(エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です*2。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

※1 交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)

- 手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
- 慣れないと誤作動や発進遅れが生じます。また、バッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
- エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。

※2 -20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。

運転以外にもできるエコドライブ

5 タイヤの空気圧から始める点検・整備



タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正值より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します(適正值より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合)。また、エンジンオイル・オイルフィルタ・エアークリーナエレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

6 エアコンの使用は適切に



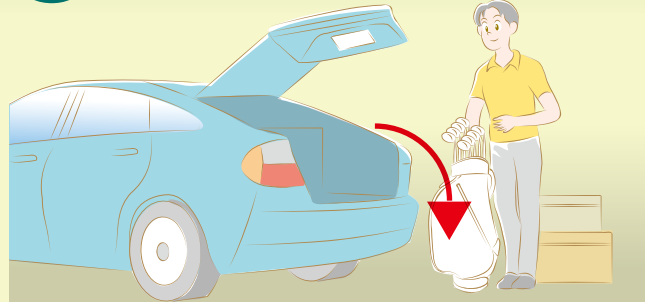
車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。たとえば、車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう



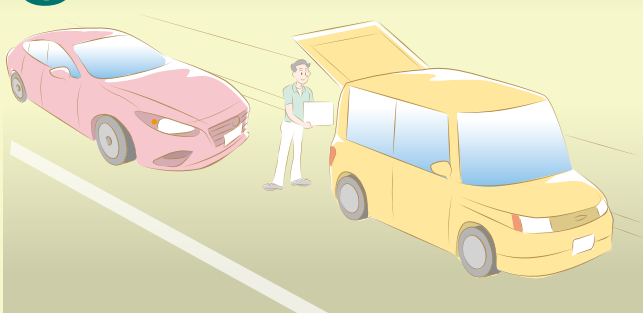
出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。

8 不要な荷物はおろそう



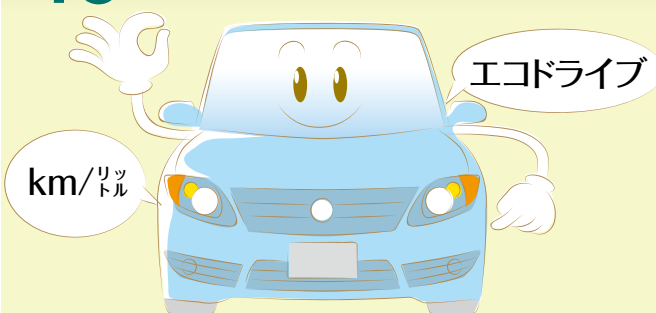
運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

9 走行の妨げとなる迷惑駐車はやめよう



迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。

10 自分の燃費を把握しよう



自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

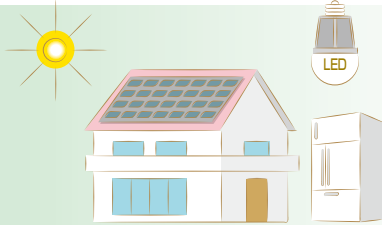
エコドライブと地球温暖化 地球温暖化対策のために、私たちにできること

日常生活で排出している二酸化炭素(CO₂)は、森林等の吸収量よりはるかに多いため大気中で増え続けており、地球温暖化が進行する原因となっています。 私たちが安心して暮らせる地球を維持していくため、一人ひとりが**コツコツ**と二酸化炭素排出削減の取組を進めていく必要があります。

家庭における取組の例

省エネ設備

- 省エネ家電の使用
- 照明のLED化
- 次世代自動車などの選択
- 太陽光発電の設置 など



ごみの減量

- ごみの発生抑制・再使用(2Rの推進)
- 食べきりの実践
- ごみの分別排出 など



低炭素なライフスタイル

- マイバッグ・マイボトルの持参
- クールビズ・ウォームビズの実践
- 公共交通機関の利用
- エコドライブ** など



ひとつひとつの
積み重ねが
明るい未来に
つながるね



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

エコドライブの効果

エコドライブを行うと、乗用車1台あたり、1年間で約139kg-CO₂*¹の削減効果があります。

千葉県には、約274万台*²の乗用車があり、すべてのドライバーがエコドライブを行うと、約38万トン-CO₂が削減されます。

これは、東京ドーム約9,000個分*³の森林面積のCO₂吸収量です。



*¹ 年間平均走行距離10,000km、燃費改善率10%、平均燃費15km/L、ガソリン1LあたりのCO₂排出量2.3kg-CO₂として算出

*² 一般財団法人自動車検査登録情報協会のホームページより

*³ 40年生前後のスギの年間CO₂吸収量(1haあたり)8.8トン-CO₂、東京ドーム面積約4.7haとして算出

